

2017年度9月卒業式 祝辞

中京大学の2017年度9月卒業式にあたり、学校法人梅村学園を代表して祝意を述べさせていただきます。皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。お子さまを支えてこられた保護者、ご家族の皆さま方に、心よりお慶び申し上げます。

本学の卒業生はすでに12万人を超えています。皆さんはその仲間となります。同窓会の組織は、各都道府県に支部があります。職域別、学部別の同窓会の発足も相次いでいます。さらに、台湾、アメリカのニューヨークとロサンゼルス、オーストラリア、カナダの海外五か所に支部があります。

中京大学には、全国から学生が集まり、大学で学び、卒業後は全国各地で活躍しています。同窓生同士のつながりは国内だけでなく、海外にも広がり、グローバルなネットワークを形成しています。

先週土曜日の16日には、東京で初めてとなる名刺交換会・異業種間ビジネス交流会を開催しました。名刺交換会は従来、名古屋で開催してきましたが、今回は関東地区を中心に約190の同窓生が駆けつけました。参加者は旧交を温めたり、新たなつながりを求めたり、ビジネスのヒントをつかんだりと互いに交流を深めました。

皆さんは今後とも、母校とのつながり、同窓生同士のつながりを大切にしてください。中京大学同窓生のネットワークは、友人関係はもちろん、ビジネスの新たな展開に役立つ場合もあるでしょう。

中京大学は開学60周年の2014年を機に策定した、長期計画「NEXT10」に基づき、各種の改革を実行しています。その中で、「卒業生連携」は柱の一つです。皆さんが愛する母校、誇れる母校へと、絶え間ない改革を進めていきます。

言うまでもなく、本学の建学の精神は「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」、校訓は「真剣味」です。つまりは文武両道であり、それは水戸学の「文武不岐」に由来しています。梅村学園創立者の梅村清光先生、中京大学開学者の清明先生は、いずれも水戸出身です。

水戸学を研究している鈴木瑛一・茨城大学名誉教授によると、水戸学、つまり水戸藩の学問・教育の特徴は、先見性、実践性、国際的視野にあると、本学での講演会で話されています。幕末の動乱期にあつて、日本全体のあり方を見据えた学問とされ、明治維新という歴史の大転換にも影響を与えました。

この先見性、実践性、国際的視野という水戸学の特徴は、形を変えて現在の梅村学園、中京大学にも受け継がれている、と言ってもいいでしょう。

梅村学園は、6年後の2023年に創立100周年を迎えます。さまざまな記念事業を企画しており、その一つとして水戸市との連携協定締結も実現しました。寄付事業も始めています。ぜひ今後も、梅村学園、中京大学の動向に注目してください。

国内外の政治、経済、社会は、激動を続けています。国内では、安倍政権の経済政策「アベノミクス」により、景気は底堅さを見せる一方、少子高齢化の進展と、それに伴う社会保障のあり方などが引き続き課題となっています。

海外では、イスラム国による自爆テロの拡散、難民や不法移民の急増、イギリスのEU離脱、アメリカのトランプ政権誕生に伴う保護主義の台頭、北朝鮮の水爆実験やミサイル発射など、憂慮すべき報道も相次いでいます。

本学は「自ら考え、行動することのできるしなやかな知識人の育成」を教育目標としています。「しなやか」とは、柔軟で弾力に富んでいる、平たく言えば、何事にもくじけない、といった意味です。皆さんはすでに、そうした資質を備えています。社会人となってからも、知識を蓄え、激動の世の中をたくましく生き抜く知恵を持ってほしいと思います。本学卒業という事実で自信を深め、それを誇りとしてください。

これからも広く、深く学び、多くの友人をつくってください。月日はあっという間に過ぎていきます。「高い志」を持って、常に校訓「真剣味」で臨んでください。ご卒業、本当におめでとうございます。

2017年9月19日

梅村学園総長・理事長 梅村清英